

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。



春を告げるマタギの鳴り声

4月29日(水・祝) 山熊田集落



熊の巻狩りの伝統を守る山熊田集落で行われた「熊まつり」。里と山の二手に分かれたマタギたちの「ヨーホー」の鳴り声が集落に響き、山の神の恩恵に感謝して熊の肉と山菜の「ナヤ汁」が振る舞われました。

頭領の大滝剛さんは「子どものころからみんなで熊狩りを教わり自然と共に生きてきました。熊は山の神からの神聖な贈り物です」と思いを語りました。

祭りだ！祭りだ！瀬波温泉コンコン祭り

4月29日(水・祝) 瀬波温泉街



明治37年にお湯が噴き出して始まった瀬波温泉。そのお湯が噴き出す前夜にキツネたちが集まり、しきりに鳴いたと伝えられ、福招きの使者として、また訪れる人々の守神としてキツネが敬われています。お狐様への感謝と温泉繁栄を願うお祭りがコンコン祭り。陣羽織とキツネのメイクで大人も子どももお神輿と山車を引き回しました。

むらかみの話題

本はきらきら万華鏡～としよフェス2015～

4月25日(土) 教育情報センター



4月23日の子ども読書の日にあわせて、「としよフェス2015」が開催されました。未就園児の親子向けの絵本の読み聞かせでは、子どもたちも絵本にくぎ付け。そのほか、紙しばいやしおり作りなど子どもから大人まで、たのしい本の世界を堪能していました。

大自然を満喫してみませんか！

4月29日(水・祝) 二子島森林公園



晴天の中、二子島の島開きが行われました。管理組合長から「ぜひ何回も足を運んでください」とのあいさつのあと、三面小学校の児童による「みおもて太鼓」が披露され、威勢のいい太鼓の音が新緑の山々にこだましました。参加者は、ボートに乗ったり、浮棧橋で島に渡ったり、まわりを散策したり、思い思いの時間を過ごしていました。

二子島森林公園は11月中旬まで営業しています。

豊かな自然を次世代へ！

5月9日(土) あらかわ総合運動公園



今年で13回目を迎えた「育樹を通じ、自然を学ぶ日」。ソチ五輪銀メダリストの平野歩夢選手や準ミス日本代表の松田梨奈さんら豪華ゲストによる記念植樹などが行われ、会場は華やかな雰囲気になりました。

植物の勉強会の後、補植作業に臨んだ金屋小6年の五十嵐澄佳さんは、「作業は大変だったけど記念になりました。大きく育ててほしいです」と話してくれました。

つながる心 ～福島県葛尾村との交流～

5月9日(土) 桃川集落



東日本大震災後から続けられている村上支部老人クラブ連合会と福島県葛尾村老人クラブ連合会との交流会。今年は桃川集落での田植え、餅つきなどで交流を深めました。少し肌寒い中行われた田植えでは、訪れた葛尾村の人から「手植えは久しぶり」「疲れたけど充実した日でした」などの声が聞かれました。

村上支部老連では、今後も交流を続けて、葛尾村の仲間を応援していきたいとのこと。



ウェブで検索してみてくださいね。紹介している以外の記事も載っています。

おいしい魚でわが家は笑顔

4月29日(水・祝) 岩船港市場



毎年秋に行われていた「さかな祭in岩船港」。22回目となった今年は春開催となりました。祭りの目玉は、新鮮な魚、カニなどの特売。いざ、販売開始となると、われ先にと客が押し寄せました。他にも、地酒の振る舞い、漁師汁、綿あめ、模擬魚つり、金魚すくいや魚ふれあい水槽などのコーナーが盛りだくさんで、家族の笑顔があふれるイベントになりました。

おってぎ様(お疲れ様)でした！

5月3日(日・祝) 大平山(神林地区)

神林地区で最高峰の大平山(標高560・8m)を登る「おってぎ登山」。小学校1年生から80代まで総勢40人で山頂を目指しました。この時期にしては、かなり暑い陽気となりました。だが、ブナの原生林に囲まれた登山道を吹く風は心地よく、全員元気に登頂しました。

